

報道関係各位

2018年4月24日
一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
特定非営利活動法人 大丸有エリアマネジメント協会

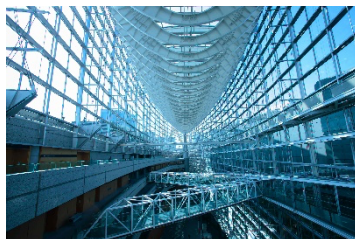
～建築・芸術・地下など大丸有地区の魅力を発見するツアーやイベントを開催～

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会 設立30周年記念

Open City Marunouchi

丸の内エリアにある洞道「SUPER TUBE」やお濠の地下浄化施設など
普段は『入れない』『見られない』『知られていない』場所を巡る大人の社会
科見学！

2018年5月18日(金)・19日(土)



大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり 3 団体*の一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（以下 大丸有協議会）では、設立 30 周年を記念し、NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会(以下リガーレ)と大手町・丸の内・有楽町地区（以下 大丸有地区）内の普段は入れない場所や見られない・知られていない場所を巡る「Open City Marunouchi」を5月18日(金)・19日(土)に開催します。

本イベントでは、丸の内エリアの地下にあり地域冷暖房の供給を支える洞道「SUPER TUBE」や皇居のお濠の水の地下浄化施設などを巡る『地下ってすごい！』や東京駅前のシンボルである丸ビルの屋上に今回特別に上がるツアー『探検！丸ビル！』、大丸有地区の名建築の数々を解説付きでご案内する「近代建築めぐり」「最新の再開発ビルめぐり」の他、1972 年から丸の内仲通りに展示されている彫刻の森美術館のアートスポットを解説付きで巡る「丸の内仲通りアートツアー」などを実施します。

大丸有協議会は、都市空間の適切かつ効率的な開発・利活用などを通じたまちづくりを目的に 1988 年 7 月に前身となる大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会として設立。行政と共に策定したまちづくりガイドラインを基に、サステナブルで安全・安心なまちづくりを展開してまいりました。又、リガーレやエコツツエリア(*)と共に、打ち水や夏祭りなどのイベントを実施するなど賑わいあふれるエリアマネジメント活動に取り組んでまいりました。こうした取り組みをさらに進め、今後も魅力ある「大丸有地区」を目指し活動してまいります。

本イベントは特定のツアーで取材・撮影が可能です。5月上旬に別途ご取材案内状を配信予定です。

大手町・丸の内・有楽町地区街づくり PR 事務局 共同 PR(株) PR アカウント本部 4 局 担当：前山・高橋
TEL：03-3571-5238

(*)「一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（大丸有協議会）、NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ）、一般社団法人 大丸有 環境共生型まちづくり推進協会（エコツツエリア）」の3団体は連携して大丸有地区のまちづくりを推進しています。

イベント概要

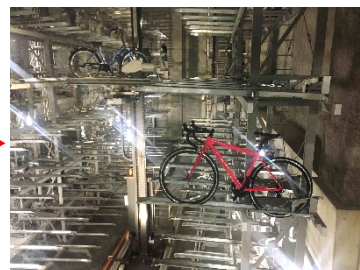
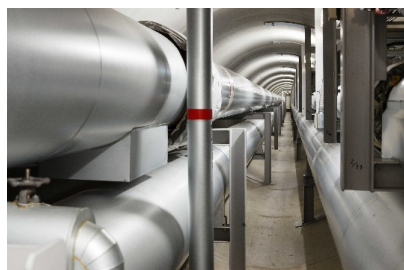
- 【名 称】 Open City Marunouchi
【開催日時】 5月18日(金) / 5月19日(土)
【開催場所】 大丸有地区(大手町・丸の内・有楽町エリア)
【主 催】 Open City Marunouchi 実行委員会
(一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会・
NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会 が参加)
【協 力】 株式会社東京国際フォーラム、東京ステーションシティ運営協議会、
一般社団法人日本工業倶楽部、日本郵便株式会社、丸の内熱供給株式会社、
三菱地所株式会社、株式会社読売新聞東京本社、センチュリーコート丸の内、
公益財団法人彫刻の森芸術文化財団、三菱一号館美術館、
三菱地所プロパティマネジメント株式会社、株式会社三菱地所設計
【後 援】 一般社団法人千代田区観光協会(予定)、公益社団法人日本都市計画学会、
公益社団法人日本建築家協会(予定)、千代田区(後援申請予定)
【内 容】 大丸有地区の普段は『入れない』場所の他、『見られない』『知られていない』場所な
どを巡るツアーやイベントを実施します。
【Website】 <http://opencitymarunouchi.jp/>

コンテンツ概要

特別ツアー「地下ってすごい！」

地下

- 【名 称】 地下ってすごい！
【開催日時】 5月18日(金) 10:00~12:00 / 15:00~17:00
5月19日(土) 10:00~12:00 / 15:00~17:00
【内 容】 普段は見る事が出来ない大丸有エリアの地下を巡る特別なツアーを実施します。
【見学場所】 丸の内熱供給(株)地下プラント、洞道(SUPER TUBE)、お濠の水浄化施設(3×3 Lab
Future 地下) → サイクルリレー(大手町グランキューブ地下駐輪場)



特別ツアー「潜入、トンネル工事現場」

地下

- 【名 称】 潜入、トンネル工事現場
【開催日時】 5月18日(金) 13:30~15:00 / 5月19日(土) 13:30~15:00
【内 容】 丸の内仲通り地下掘削中の洞道を巡る特別なツアーを実施します。
【見学場所】 丸の内仲通り 地下 ※リリース 1P 目 左上写真



特別ツアー「近代建築めぐり」

建築

- 【名 称】 近代建築めぐり
【開催日時】 5月19日(土) 10:00~12:00 / 13:30~15:30
【内 容】 建築の専門家三菱地所設計の解説員が近代建築について解説しながら、まちをめぐります。
【見学場所】 日本工業倶楽部会館、東京中央郵便局、明治生命館、
三菱一号館美術館等



特別ツアー「最新の再開発ビルめぐり」

建築

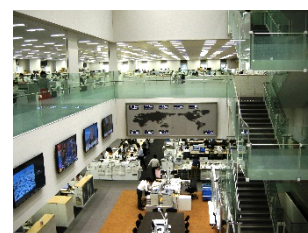
- 【名称】 最新の再開発ビルめぐり
【開催日時】 5月19日(土) 10:00~12:00 / 13:30~15:30
【内容】 建築の専門家三菱地所設計の解説員が最新の再開発ビルを解説しながらまちをめぐります。
【見学場所】 大手町ファイナンシャルシティグランキューブ ホトリア街区等



特別ツアー「『読売新聞』を見に行こう！」

建築

- 【名称】 『読売新聞』を見に行こう！
【開催日時】 5月18日(金) 10:00~11:00 / 16:00~17:00
5月19日(土) 10:00~11:00 / 16:00~17:00
【内容】 読売新聞の“心臓部”である編集局フロアを特別に公開するなど、読売新聞ビルの見どころを案内します。
【見学場所】 よみうりギャラリー、編集局見学エリア、屋上庭園「よみうりガーデン」、レセプションルーム 他



特別ツアー「探検！JPタワー！」

建築

- 【名称】 探検！JPタワー！
【開催日時】 5月18日(金) 時間未定 5月19日(土) 時間未定
【内容】 東京駅前にそびえ立つJPタワー。旧東京中央郵便局が一部保存された建物を巡り、普段は入れないところへもご案内します。
【見学場所】 旧東京中央郵便局長室、地下3階巨大空間、6階「KITTE ガーデン」等



特別ツアー「探検！丸ビル！」

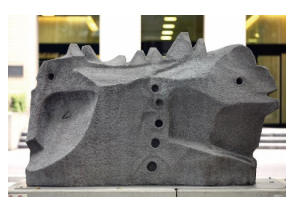
建築

- 【名称】 探検！丸ビル！
【開催日時】 5月18日(金) 13:30~15:00 5月19日(土) 13:30~15:00
【内容】 丸の内を代表するビルの一つ、丸の内ビルディングの裏側に潜入。丸ビルの歴史、地下深い場所、今回のみ特別に屋上に出てその景色が堪能出来ます。
【見学場所】 Mの記憶(旧丸ビル松杭)、屋上、地下防災井戸設備、丸ビル観音他

特別ツアー「丸の内仲通りアートツアー」

芸術

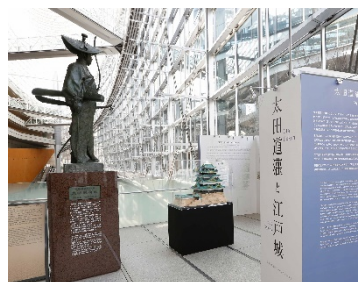
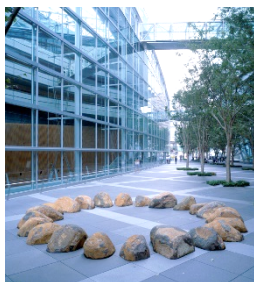
- 【名称】 丸の内仲通りアートツアー
【開催日時】 5月18日(金) 9:30~11:30 / 13:30~15:30
※三菱一号館美術館 Café 1894、もしくは、センチュリーコート ティータイム付
5月19日(土) 9:30~11:00 / 13:30~15:30
【内容】 1972年からはじまった「丸の内ストリートギャラリー」は、丸の内仲通りに彫刻の森美術館のアートが並び、緑とアートが一体となった空間を演出しています。本ツアーでは彫刻の森美術館の職員による解説を聞きながらまちあるきします。
【見学場所】 「はばたく」、「Bird 2009-01B3」、「ある女性の不安な伝記」、「行列・並列」、「Animal2012-01B」、「Animal2015-08B」、「われは南瓜」、「追憶」、「恋人たち」、「うづくまる女No.3」、「拡散する水」



特別ツアー「東京国際フォーラム散歩」

芸術

- 【名称】 東京国際フォーラム散歩
【開催日時】 5月18日（金）10:30～11:15／15:00～15:45
5月19日（土）10:30～11:15／15:00～15:45
【内容】 東京国際フォーラムのパブリックスペースを散策する街歩きツアーです。三菱一号館美術館にて開催中のルドン展もご覧いただけます。
【見学場所】 東京国際フォーラム地上広場、ガラス棟等



共催イベント「フォトログ体験 in Open City Marunouchi」

散策

- 【名称】 フォトログ体験 in Open City Marunouchi
【開催日時】 5月19日（土）11:00～16:00
【開催場所】 大丸有地区（大手町・丸の内・有楽町エリア）
【内容】 大丸有地区のエリア内にて、フォトロゲイニング（時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツ）を体験します。三菱一号館美術館や東京国際フォーラムなど様々な場所を回ります。
【主催】 読売新聞社
【共催】 Open City Marunouchi 実行委員会
【協力】 日本郵便株式会社、東京海上日動火災保険株式会社

「マップで再発見！ 大丸有の魅力」

散策

- 【名称】 マップで再発見！ 大丸有の魅力
【内容】 大丸有エリアに息づく素敵な魅力を再発見できる地図を作成しました。スマホ片手に大丸有を歩き回ってください。
【URL】 上記 Open City Marunouchi のウェブサイトからアクセス

※ツアー内容については変更になる可能性があります。 ※画像はすべてイメージです

本資料は本日付で国土交通記者会・国土交通省建設専門紙記者会・東京都庁記者クラブへお届けしています。

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

大手町・丸の内・有楽町地区街づくり PR 事務局

共同ピーアール(株) PR アカウント本部 4局 担当：前山・高橋

TEL：03-3571-5238 FAX：03-3571-5380

E-mail：tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp

【参考】一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町 地区まちづくり協議会 設立 30 周年について

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり 3 団体の一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町 地区まちづくり協議会（以下 大丸有協議会）は、1988 年 7 月に大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会として設立。都市空間の適切かつ効率的な開発・利活用などを通じた街づくりを目的に、策定したまちづくりガイドラインを基に、これまで都市空間のインフラ整備や維持管理、サステナブルで安心安全で災害に強いまちづくりを実施する他、様々なイベントを実施し、公民協調による街づくりを実施してまいりました。



1995 年の大丸有地区



2016 年の大丸有地区



整備前



整備後

丸の内仲通りの比較（整備前・整備後）

★大丸有地区の数字

建築棟数	約 100 棟
事業所数	約 4,300
就業人口	約 28 万人

◆当地区の歴史と30年の歩み

江戸時代、江戸城を中心とした諸大名・旗本のための武家地だった当地区は、明治維新後に「知王国市区改正設計」により経済地区として整備され 1890 年には陸軍省用地となっていた土地が民間に払い下げられ日本初のオフィス街の整備がスタート。当時のビル街はその西欧風のたたずまいから「一丁倫敦（ロンドン）」と呼ばれました。1914 年には東京駅が完成し、それ以降大型オフィスビルによる街並みは「一丁紐育（ニューヨーク）」と呼ばれました。

～協議会の発足～

1970～80 年代、企業のグローバル化が進展し国内外の企業の東京進出が活発化したことで、オフィス不足や老朽化、就業環境の改善などが課題となり、地権者間で一体的な再開発の機運が高まりました。東京駅周辺再開発誘導地区指定（1986 年）、千代田区まちづくり方針（1987 年）の政策により 1988 年 7 月 20 日に大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会として大丸有協議会は発足しました。

～にぎわいの創出へ～

その後、地権者間の検討を経て 1994 年に再開発の指針となる 7 つの街づくりの理念「大手町・丸の内・有楽町地区街づくり基本協定」を締結し、1996 年には、行政等と共に大丸有地区の将来像を議論・検討する大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり懇談会が発足。2002 年には街づくりのハードとともに街の交流機能の強化、都市観光としての魅力づくりなどのソフト面でのまちづくり（エリアマネジメント）の重要性が高まり、NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ）が設立されました。これまで大丸有協議会と協調してさまざまなイベントやツアーガイド、コミュニティバスの運行支援など交流機会の創出活動を実施してまいりました。

2013 年には、ユニークベニューを活用したトライアルイベントを三菱一号館美術館にて開催、2014 年から道路上でオープンカフェ等を催した「公的空間活用モデル事業」を実施。外部団体の積極的な活用を呼び掛けるための「道路空間活用のご案内」の作成や国際会議の誘致を目的に地区の MICE 団体が連携する DMO 東京丸の内からの情報発信など、都心型 MICE 等に対応した都市環境整備を進めています。

